

学校の教育目標：「自他を大切にし、共に伸びる児童の育成 ～元気・笑顔・成長～」

相良村立相良南小学校だより 校訓「やさしく かしく たくましく」



元気・笑顔・成長！南小

Ver 3.0

第18号 令和7年12月3日発行 発行者 校長 田口広治

児童数 167

PTA数 122

「人権の花」運動 命を大切にします！



相良南小HP ↑

■5月から、「人権の花」運動の取組を進めてきました。ひまわりやマリーゴールド、千日紅といった花を育て、種取りも行いました。毎日の水やりなどの世話やフラワー活動時の草取りなど、みんなが頑張ってくれました。学校に来られた方が、「花壇の花がきれいですね」とよく言われていました。

さて、11月28日（金）には、法務局、人権擁護委員会、相良村関係者の方々のご参加のもと、「人権の花」運動終了式を行いました。

まず、中村相良村教育長からは、「花の命だけでなく、友達の命を大切にしていってください」との話がありました。さらに、「論語」の「汝の欲せざるところは、人に施すことなかれ」の言葉を出されました。しっかり守っていきたい言葉です。

校長あいさつでは、「花を大切に育てると共に、友達を大切にしましょう」という話をしました。友達と仲よくする、一緒に遊ぼうと声をかける、意地悪をしない、嫌なことをしない、ということを守って、これからも人権を大切にする学校をつくっていききたいと思います。

続いて、感謝状や記念品をいただいたり、取った種を渡したりしました。種は、人吉市の中原小に引き継がれることになります。

人権擁護委員の方からの話では、「SOSミニレター」の話がありました。「決して一人で悩まないでください。解決できないときは、利用してください」との言葉がありました。困ったことがあったら、必ず誰かに相談してほしいと思います。

最後に、御礼の言葉で6年生の豊永涼さん、原口莉緒さん、立見倅平さんが、「花に水や肥料が必要なように、人には笑顔や思いやりが必要。人の気持ちを考えて行動していきたいです」との言葉を述べました。立派なあいさつでした。

「人権の花」運動は終了となりますが、人権を大切にする学校、一人一人を大切にする学校を、みんなでつくっていききたいと思います。



全校集会 頑張る姿が見られます！

■ 11月25日（火）の全校集会では、子供たちの頑張っている様子を紹介しました。

「元気」では、昼休みにたくさんの人が外遊びしている様子を写真で見せました。サッカーやドッジボール、鬼ごっこや遊具遊びなど、あちこちで楽しそうに遊んでいます。現在、持久走も頑張っています。体を動かすことは、「体の健康」だけでなく、「心の健康」「頭の健康」にもいいです。運動は、脳の活性化につながり、集中力や思考力など向上します。

「笑顔」では、「スマイルフラワー」の取組を進めています。友達のいいところやありがとうの言葉をたくさん書いて、笑顔を増やしてほしいと思います。

「成長」では、学習の様子を紹介しました。左の写真は、漢字テストの前に「自分で確認」をしている様子です。真ん中は、タブレットで図鑑を読んで、文章にまとめています。「自分で読む」ことができています。右は、「自分の考え」をしっかり持って、グループでまとめています。いずれも「自分の学び」を大切にしていることが分かります。



学校外の方から学び！

■ 11月13日（木）には、3年生が製茶工場見学を行いました。お茶農家の川上さんから、機械を見せいただきながら、お茶をつくる過程を教えてくださいました。お茶を摘む機械にも乗せてもらい、子供たちはとても喜んでいました。

11月20日（木）には、2年生が村探検として、「役場」「茶湯里」「生田製茶工場」「生田鉄工所」を訪れました。2年生は、村にはどんな所があるのか、どんな人がいるのか、などを学んでいます。それぞれの所でしっかり話を聞いたり、質問したりして、学びを

深めることができました。

11月21日

（金）には、5・6年生が「性に関する指導」講演会として、熊本市の福田病院から助産師さんに来ていただきました。赤ちゃんだっこ体験をしたり、生まれてくる様子の話などを聞いたりして、命の大切さを感じることができたようです。

